

50代 女性 不安で注射を打てなくなった看護師がうつを乗り越え再就職できたケース

JPHMA 認定ホメオパス No.0742

道繁 良

うつ。不安がひどくなり、注射を患者に打つことが怖くてできなくなり看護師を退職。失業保険と同居の親の年金で生活している。毎日いろいろとしようと思うができない。部屋もちらかっているが掃除できない。親の食事を作るなどの家事はするがビールを飲んでエンジンをかけないとできない。ビール350mlを5、6本毎日飲んで気を紛らわしている。夜中に目が覚め眠れないのでそこから導入剤を飲んで寝たりする。

優秀であらねばならない、きちんとしていなければいけない、できないことがあってはいけない、役に立つ人間でなければならないという価値観が強くみられた。

父はギャンブル依存があり、母親からいつも怒られてばかりいた。自分を保育園の迎えに来てくれるはずの父がパチンコに行っていて迎えがこないことが度々ありとても悲しく心細かった。母親は太っていて恥ずかしい。親戚の中で自分の家はこのようにだらしない親のせいで見下されていた。見下されている親の子である自分への祖父母からの態度もひどく、粗末に扱われた。このような世間的に恥ずかしい家庭を自分がしっかりとした人間になることで世間からきちんとした家庭であるとみてもらえるよう一人で頑張ってきたが、どこまでいっても自分を認めることができず、心の声は自分をダメ出しし続けていた。立派な職業の相手として医師と結婚をしたが、医師である主人の家族から否定される発言をされることから苦しくなり離婚。ここでも自分は世間から認められない人間であるという思いを深めてしまった。

→できていない部分ではなく、満足ではなくてもできている、できる人間になるよう頑張ったところを見つけて自分の頑張りを認め、一人でよく頑張ってきたことをねぎらってもらった。また父が迎えに来なかった時の悲しみや孤独、母が自分の思い通りの母でなかったことの悲しみ、親戚から見下された時の悔しさなど過去に感じていながら見ないようにして、上記のような価値観で認められるような人間になることで逃げたことを、そのまま受け入れ、本音を吐き出してもらった。自分も共鳴して共に泣いてしまうこともあった。毎回たくさんの涙を流すとともに少しずつ、そのままの自分を認められるようになっていった。その時その時にでてきたインチャの感情を癒すレメディーを出し続けた。

再就職に向けて、これまで苦手だったコンピューターのスキルを学ぶ職業訓練に通い始めたところに、母親が心臓の問題で入院。おそらくもう家で介助できるような状態ではない状況になったことも後押しして、クライアントは就職活動を始めた。

相談会で再就職後、最初の相談会

仕事は医大付属病院の事務。

これまでの自分をうつに追いやった、優秀でなければならないという価値観を緩め、無理なく、今の自分にできる仕事を受け入れ始めた結果である。

しかし担当はコロナの最前線の呼吸器・感染症内科の病棟であり、勝手の分からない新しい病院かつ、コロナで忙しいため、職場の先輩たちはぴりぴりとしていて機嫌が悪く、こんなこともできないのか？いわなくてもわかるだろうという厳しく冷たい態度で接してくる、しかし、こちらからの働きかけに対しては、きちんと言わないとわからないだろうと、矛盾していることを平気でいわれるという理不尽さに苦しんでいる。

同時に身体面では体中が打撲しているように痛い。整体では首のゆがみから来ているようだと言われている。僕からは相談会を通して、このような医療現場のヒエラルキーがある職場で厳しい先輩たちからの厳しい言葉や態度が心の打撲傷になっていませんか？と話し、少し思い当たる伏があるようだった。そしてサポート損傷を軸に処方をした。

→このように冷たい、下っぱあつかいする、こんなこともできないと馬鹿にして、丁寧に教えてくれない人、だれか似た人が過去にいませんでしたか？という問いに、それは過去の自分自身であると気づいた。

この気づきから、当時、自分が同じような態度で傷つけた相手の気持ちを理解すること、どのように苦しむことでカルマを解消できることを伝えた。今回はこのような辛い職場も逃げずに、できるだけやってみようという心構えがある。確かに自分は今、仕事を始めたばかりの下っ端であるということを認めつつ、またできないことがあっても、頭を下げて教えてもらうこともできるようになったのは、できないといけないという優秀インチャが緩んだ成果であると思う。

その数日後、クライアントから引いたおみくじの内容が私が伝えたことと重なっていて驚いたと写真とともにメッセージが送られてきた。

メッセージ+++++

打撲で思い出した事ありまして。写メ送りますます。

6日に美保神社に行って、おみくじひいたら、こんなん書いてありました…打撲👉心の打撲の事でしたわ。どうやら、我慢の時ですね。

カルマ解消ですね。

今回のおみくじ、セッション後から凄いなあと感じました。

+++++

運勢：いまは自我を捨てて他人に従う低姿勢をとる方が得。何事も相手に一步譲る心のゆとりが欲しい。

第十五番 末吉

運 勢

いまは自我を捨てて他人に探り低姿勢をとる方が得。何事も相手に「歩ゆずる心」のゆとりが欲しい。

「能ある鷹は爪をかくす」。しばらくの間は才能や功績を誇らずに、次の大きなチャンスを見つと待つこと。然らずにここで力を蓄えておけば、かならず実力を発揮する場が訪れる。

仕事 交渉 取引 愛情 縁談 恋愛

大きな動きはない。地味で平凡な成りゆきだが、尻上がりに好転していく。強引に勤くとマイナスとなる。

互いの誠実さと積極性が美しい実りとなる。ちよつと懐がさびしい気配があるので面白味はないが、順調にいく。

健康 病氣 療養 試験 技芸 学業

なんとなく気力が低下して元気がない時。重病の場合には要注意。見かけより重い。打撲の場合は軽くみるな。

実力が十分に出ないで苦しむ。しかし才能はいずれ認められる。もうひと踏んばりの頑張りが必要。

健康病氣療養：なんとなく気力が低下して元気がない時。重病の場合には要注意。見かけより重い。打撲の場合は軽くみるな。

おみくじからのバックアップもあり、クライアントは今はいよいよ謙虚に逃げずに頑張る

べき時と受け入れ、きつい態度をとられる職場でもできない自分をそのまま受け入れる修行、無理しないように頑張りますとって働かされている。

ホメオパシーはこれまで気にしていたことが全く気にならなくなったり、できなかったことができるようになるなど、その人をまるで別人に変えるものではなく、その人がご自身のできること、できないこと、自分の特性をそのまま受け入れ、そのうえで、よりよい人生を幸せに生きていく変化をもたらす療法であると思っている。